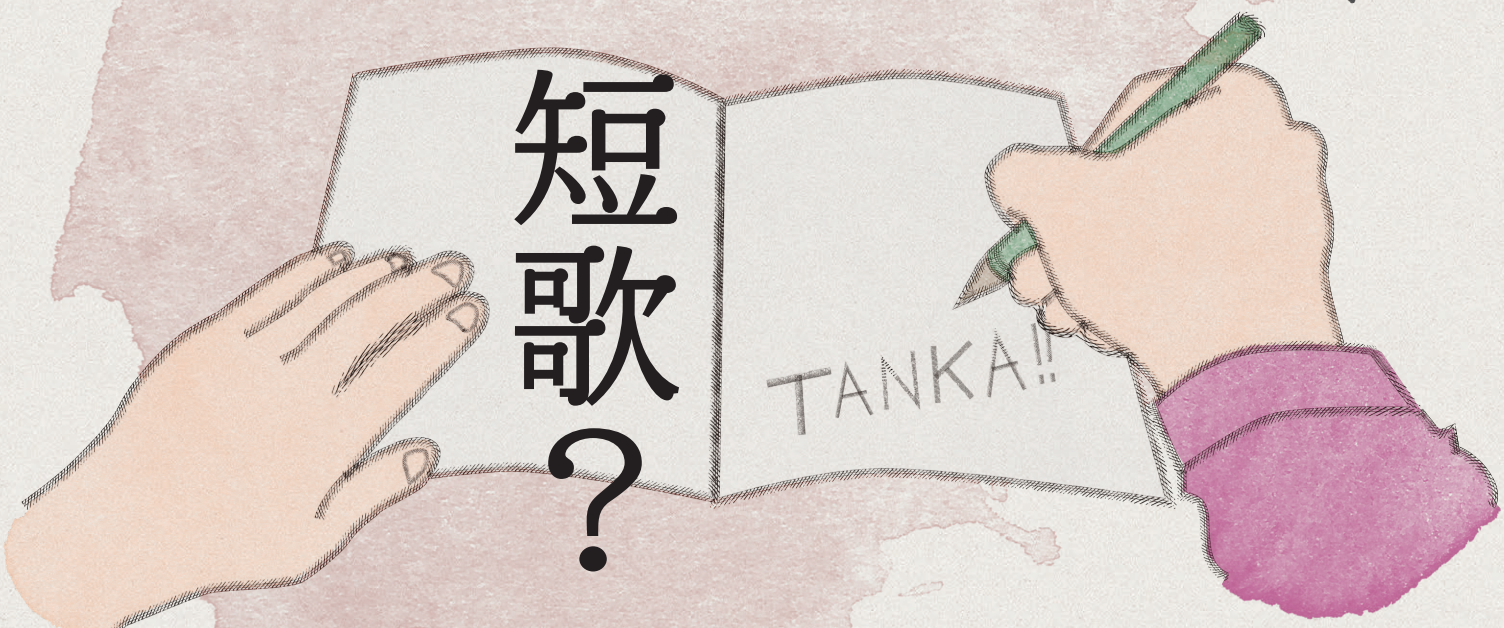
gonna 57

短歌に触れるフリーペーパー『ごな』

発行 /『〇〇飛騨万葉』プロジェクト ※〇〇には次の元号が入ります
問い合わせ先 / 高山市市民活動部生涯学習課
〒506-8555 高山市花岡町 2-18 TEL:0577-35-3155 FAX:0577-35-3414
企画 / 第 3 回飛騨高山文化芸術祭実行委員 山本真紀
編集・イラスト / 田中ましろ

2019.2
創刊号！
TAKE FREE



短歌？

万葉の時代から、日本人に嗜まれてきた「短歌」。今、このフリーペーパーを読んでいる人のほとんどは、百人一首などで少し触れた程度で、和歌や短歌は大昔のものだと思っているのではないでしょうか。最古の和歌は神話に登場するスサノオノミコトが詠んだと言われているくらいですから、それはまぁ大昔のものなんですが…、違うんです、短歌は今がアツいんです！このフリーペーパーでは、時代を超えて愛され続ける「短歌の面白さ」を、たっぷりご紹介いたします！

短歌の基本ルール。それは、5・7・5・7・7のリズムで詠むこと、ただそれだけです。俳句とは違い季語の知識も不要なので、誰でも気軽に始められるのも魅力。高齢者の趣味？いえいえ、最近では高校生や大学生といった若い人が短歌にハマっているケースもしばしば。ツイッターよりもずっと短い、わずか三十一文字の中に、どんな想いを詰め込むか、どんな景色を詰め込むか、どうすれば読んだ人の想像を三十一文字以上に膨らませられるか。そんなことを考えながら言葉を紡ぎます。とはいえ、いきなり作れと言われても困っちゃいますよね。百聞は一見に如かず、今号では「青春を感じる短歌」を例に挙げてどこが魅力的なのかをちょこっと解説してみたいと思います。良い短歌に触れることで、シンプルなのに奥が深い短歌の面白さを感じ取ってもらえたら嬉しいです。

青春、と言ってもどんなシーンを詠むかは人それぞれです。例えば、こんな短歌。

遠くから手を振ったんだ笑ったんだ　涙に色がなくてよかった
（柳澤真実）
※枡野浩一『かんたん短歌の作り方』収録歌

おそらくはお別れのシーン。主人公は笑って手を振っているのかと思いきや、作品の後半で実は泣いていたことが判明します。相手を心配させないために、泣きながらも必死で笑顔を作る主人公の優しさに心を打たれる作品。相手への想いが、「涙に色がなくてよかった」という間接的な言葉で表現されているのが、ものすごくおしゃれですね。

観覧車回れよ回れ想ひ出は君には一日我には一生
（栗木京子）
※歌集『水惑星』収録歌

片想いを詠んだ名歌です。相手にとっては一日限りのすぐに忘れる思い出かもしれないけれど、自分にとっては一生忘れない思い出だ、と。観覧車が大きく回る壮大な景色は運命の歯車のようで、作品のドラマチックさに拍車をかけています。

いかがですか？短歌、面白そうじゃないですか？鉛筆と紙があればすぐに始められます。スマホにちょっとメモするのでもOK。裏面では読者投稿の作品を紹介していますので、ぜひチェックしてみてください。

第３回飛騨高山文化芸術祭『こだま～れ 2019』開催決定！

「誰もが身近に感じ、誰もが参加・行動する芸術祭」をめざして、2013 年度から 3 年に 1 度、高山市内全域で展開する市民の皆さん一人ひとりが主役の祭典が今年もやってきます！
キーワードは「ふれる」「つくる」「つなぐ」。
四季を通じて展開されるこの祭典に、市民みんなで参加・行動して、飛騨高山オリジナルの文化芸術祭を作り上げましょう！関連イベント等の詳細はこの紙面にて、順次お伝えいたします！

飛騨高山文化芸術祭
こだま～れ
2019

ふれる
～感動する喜び～
見て、聞いて、感じよう！

つくる
～表現する喜び～
知って、考え、行動しよう！

つなぐ
～共感する喜び～
交わり、理解し、伝えよう！

短歌募集中！

『ごな』では投稿コーナーに掲載する短歌を募集しています！投稿数に限りはありません。毎月のテーマに合った短歌作品をぜひご投稿ください。

3月のテーマ	投稿締切
『卒業』	2/17(日)

郵送・ファックス・メールは、名前（ペンネーム可）・住所・電話番号・作品を書いてご投稿ください。
実行委員会が選んだものをフリーペーパーに掲載します。

郵送 〒506-0009
高山市花岡町 2-18
生涯学習課 宛

FAX 0577-35-3414

Mail hidatakayama.kodamale@gmail.com

URL https://mailform.mface.jp/frms/kodamale2019/aerfwoen465v

Twitter @hidamanyou
ハッシュタグ「#ごなフリペ」をつけて作品をツイートしてください。

読者投稿 今月のテーマ「バレンタイン」の短歌

下駄箱に想い届けた放課後の鉄棒で見る逆さまの空
（とみた律）

弟もクラスの男子も先生もみんなそわそわしてて如月
（ともえ夕夏）

意味もなく教室戻り確かめる男心をわかってください
（あおい月影）

白線といっしょに川へ流してる渡せなかったチョコの苦さを
（須磨蛍）

体ごとチョコレートの海に飛び込んであなたの元へ届け心臓
（滝音）

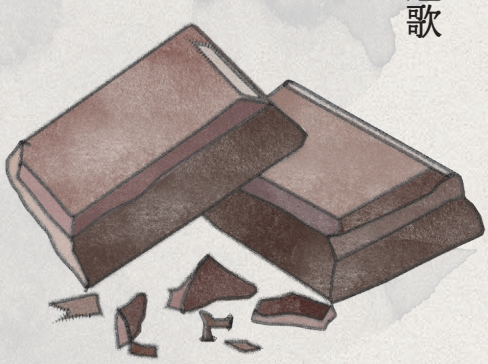
チョコレイト・ディスコは踊れる簡単にそんな感じで渡せないかな
（史乃）

結果的に呪いのような大きさに成ってしまったハート型チョコ
（幸香）

優しさの形いろいろ「ごめんね」と言いつつ受け取る人、返す人
（小田たくみ）

義理ですと渡したチョコを君はいま義理と思ってやすやすと食べる
（みやや）

いびつなハートのほうが目立つって、わたしが去年おしえた技じゃん
（鳩麦）



嬉しさと寂しさが反比例する息子のもらうチョコの数だけ
（知己 凛）

板チョコが一枚余る義理チョコと名前をもらい旅立っていく
（石勇斎朱吉）

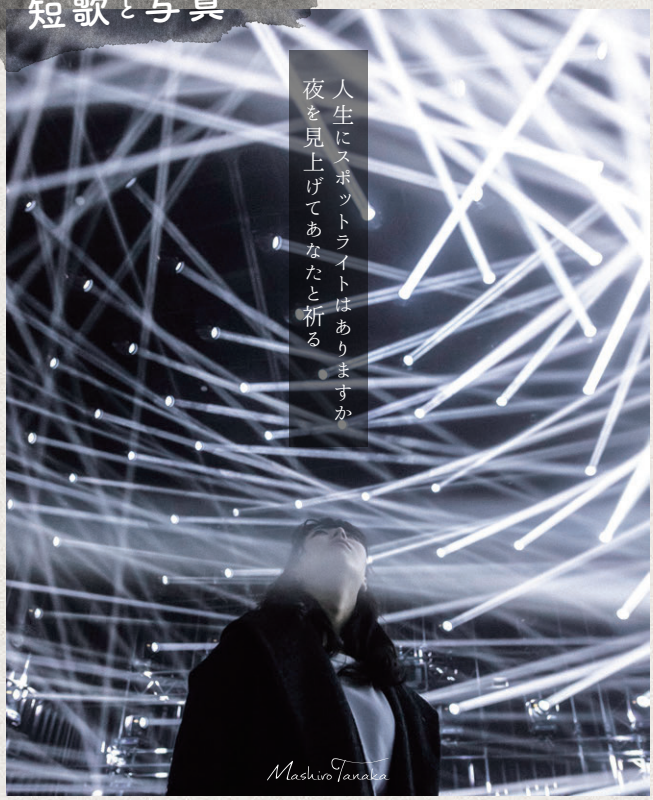
手作りの美味しいチョコをありがとう旦那が貰い妻が頂く
（野原 豆）

ああ夫（つま）よこれは本気のチョコですよ気付かぬふりして選ぶお返し
（深影コトハ）

呼び名ならはっきりしないけど甘いふたりのために買うチョコレート
（千原こはぎ）

かじかんだ手で溶かすほど待っていた下校のチャイムが鳴り終わる、雪
（幾美）

田中ましろの 短歌と写真



MODEL：美優香 @I_am_Miyuka

新進気鋭の歌人に教わろう 『天才による短歌教室 in 高山』

申込締切 3/5(火)

歌人・木下龍也氏をお招きして、短歌教室を開催します！短歌を作るときの技法や発想法がわかると評判の講座。必要なのは筆記用具のみ。ぜひご参加ください！

3月17日(日) 14時~16時
@ 高山市民文化会館2-5会議室

参加費無料！

中学生以上の市民が対象。参加にはお申込みが必要です。
電話か FAX かメールにて、ご一報ください。
申込先：
飛騨高山文化芸術祭実行委員会 事務局 高山市生涯学習課
Tel: 0577-35-3155 / Fax: 0577-35-3414
Email: shougaigakushuu@city.takayama.lg.jp
※定員 50 名を超えた場合は抽選とさせていただきます。

講師：木下龍也氏 @kino112

1988 年山口県生まれ、東京都在住。2013 年に『つむじ風、ここにあります』2016 年に『きみを嫌いな奴はクズだよ』2017 年に『玄関の覗き穴から差してくる光のように生まれたはずだ』を刊行し、いずれも増刷を重ねている。不定期で『天才による凡人のための短歌教室』などのイベントを各地で開催。

編集人について

田中ましろ @tnkmsr

1980 年生まれ。大阪府在住。歌人・写真家・コピーライター。
2010 年より短歌 × 写真のフリーペーパー『うたらば』を企画・制作。短歌を広める活動に力を入れている。『うたらば』は日本タウン誌・フリーペーパー大賞 2018 にてコミュニティ・ライフスタイル部門最優秀賞を受賞。歌集『かたすみさがし』（書肆侃侃房）。写真と短歌による作品を定期的に発表中。

編集後記

『ごな』創刊号、できました！
難しそうな短歌の世界の扉を開いて、ほら楽しいから入ってきなよ、と言うような紙面を目指して、次号からも頑張って作りたいと思いますのでお付き合い、どうぞよろしくお願いします～！